

日本生理人類学会誌投稿規程および執筆要項

(平成26年12月17日改訂)

はじめに

日本生理人類学会誌（英文名：Japanese Journal of Physiological Anthropology）は、日本生理人類学会が発行する和文誌で、平成8年2月に創刊されました。

日本生理人類学会は、ヒトの生物学的特性と人類文化の本質とを解明し、ヒトの本質を重視することによって人間生活の改善・向上に資するという共通の認識の下に、人間工学、建築学、医学、生活科学、家政学、健康科学、体育学、生物学、人類学、電子工学、機械工学、デザイン科学、芸術学、心理学など多様な角度からヒトを生理人類学的に科学し、その福祉に貢献する学会です。

日本生理人類学会誌は、このように広い視野からヒトに関わって行われた研究の成果を、日本語で発表する媒体として位置づけられています。とくに環境適応能、機能的潜在性、生理的多型性、テクノアダプタビリティ、全身的協働といった5つのキーワードで示される生理人類学的観点に基づいて得られた知見をまとめた原稿の投稿を推奨しています。

投稿原稿は、日本生理人類学会誌編集委員会によって決定された2名以上の査読者による査読を著者の氏名や所属を公表せずに行う厳正なシステムで評価されます。

投稿カテゴリ

日本生理人類学会誌は、総説、原著論文、研究報告、短報、技術報告、その他、討議・回答など、多くのカテゴリに分類される原稿の投稿を受け付けています。下記に本誌で取り扱うカテゴリと概略を示します。投稿に際し、著者は投稿する原稿にふさわしいカテゴリを一つだけ選んで下さい。査読中のカテゴリ変更はできません。

総説

生理人類学に関する諸問題を客観的な資料・考察に基づいて広い視点から論じたものです。

原著論文

独創性と新規性の高い理論的または実証的な研究で、完成度の高い論文です。

研究報告

実測・試験・調査等のデータをまとめた研究で、将来的に研究・設計・開発・評価等に有用な資料として参考になるものとします。原著ほどの高い完成度を要求しないものとします。

短報

独創性、緊急性のある萌芽的研究で、発展性の期待できる研究を手短にまとめたものです。採択された後、可能な限り早い号に掲載されます。

技術報告

新たな手法・実験装置の開発、それらによる有用な結果についてまとめたものです。

その他

トピックス・ノートなど編集委員会で必要性を認めたものです。

討議・回答

上記の各カテゴリに属する論文に対する質疑、提言等を簡潔に述べたもので、著者は回答の義務を有します。図表を含め刷上り2頁の長さでなければなりません。なお、討議の受付期間は掲載誌発行後1年以内とし、討議・回答の投稿料は無料です。

投稿原稿執筆要項

投稿原稿は邦文とし、既に掲載されたものを重複して投稿していません（ただし、学会発表抄録は除く）。原稿には日本生理人類学会誌原稿送付票をつけてください。原稿送付票および投稿原稿フォーマットは学会ホームページからダウンロードしてご使用下さい。原稿はA4サイズで4辺に最低25mmの余白を取って作成します。ファイルのフォーマットはPDFとMS-Wordの両形式とします。原稿は「表紙」、「英文要旨」、「本文」、「謝辞」、「引用文献」、「表」、「図」、「図の説明」の順に連続したページで構成してください。投稿原稿に記述されている研究は倫理的配慮がなされていなければなりません。投稿に際しては、筆頭著者は本学会正会員または学生

会員でなければなりません。

1. 表紙

原稿の投稿区分、題目（和文及び英文）を記述してください。

2. 英文要旨・キーワード

原稿の要旨を英文にて記述下さい（100語前後）。投稿前にネイティブチェックを受けてください。英文要旨の最後の部分に3-5個のキーワード（和文および英文）を挙げてください。

3. 本文

本文は新規ページから開始してください。また、左余白に行番号を記してください。原著論文と研究報告は一般的に緒言、方法、結果、および考察で構成されています。

緒言：研究の目的を明らかにし、従来の論文との関連をまとめてください。文献の引用は最も適当なものにとどめてください。**方法**：研究方法は、読者がその研究を再現できるほどに十分に詳しく記述してください。**結果**：重要な知見のみを論理が一貫するように本文、表、図中に記述してください。表や図の中に示されているデータを結果の部分で単に繰り返すのは避けてください。**考察**：研究で得られた新しくかつ重要な知見を強調してください。得られた知見について、これまでの論文との関係や、その限界について記述してください。前のセクションで述べられたことを繰り返してはいけません。データの範囲を超えて飛躍した結論を述べることは避けてください。また、本文における句読点は「、。」方式に統一します。

4. 謝辞

著者は研究に対する経済的、およびその他の利害の絡みについて認識し開示する責任があります。著者は原稿の中で、研究に対する全ての経済的支援、経済的および個人的な関係について謝意を表さなければなりません。

5. 引用文献

引用文献は、本文の後に使用順に番号を付け、末尾にまとめて掲載して下さい。また、本文中の引用箇所に肩付き文字^{1) 2)}で明記して下さい。引用文献の記述形式は次の通りとします。

- 雑誌の場合は、著者姓名、論題、雑誌名、巻: 最初の頁-最後の頁、西暦年

- 単行本の場合は、著者姓名、書名、洋書の場合は出版所（和書の場合は不要）、西暦年とする。全文に渡って引用する場合はページ数を記載しない。また、書籍中の章を引用する場合、当該章の題目と頁を記載する。
- 著者名は必ず姓で記す。英文表記の場合も同様とする。

以下に引用文献の例を示します。

- 野口正憲, 齋藤誠二, 綱分憲明, 吉塚一典, 村木里志, 綿貫茂喜. 現代日本人における15歳から20歳男女の体型の多様化. 日本生理人類学会誌, 13: 309-314, 2008
- 岩永光一. ヒトの適応能. 日本生理人類学会 (編), カラダの百科事典. 丸善, 652-698, 2009
- Weaver TD, Klein RG. The evolution of human gait. In Rose J and Gamble JG eds. Human walking, 3rd ed. Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 23-32, 2006
- 佐藤方彦 (編). 日本人の事典. 朝倉書店, 2003
- Perry J. Gait analysis. SLACK Inc., USA, 1992
- Kozaki T, Yasukouchi A. Relationship between salivary estradiol and components of mental rotation in young men. J Physiol Anthropol, 27: 19-24, 2009
- Abe D, Hotta N, Fukuoka Y, Ohta Y, Hamasaki K. Biomechanical analysis of gait and sit-to-stand patterns using a specially made knee supporter in healthy young and elderly individuals. J Physiol Anthropol, 29: 65-70, 2010

6. 表

表は新規ページから開始し、本文中で記述した順にアラビア数字で番号を振ってください。表は本文を参照しなくても理解できるようなものでなくてはなりません。説明的な内容は表題ではなく、脚注において行ってください。各々の表で使用された非標準的な略語はすべて脚注において注釈を与えてください。

7. 図

図は新規ページから開始し、表題と説明文は

同じ頁に記入してください。全ての図において、本文中でそれらが最初に引用された順番に従って全体を通じて一連番号を振り、それぞれ個別の用紙に印刷して投稿して下さい。最終原稿（掲載原稿）においてカラー図を希望する場合は、投稿時からカラー図を用いて下さい。なおカラー図の掲載には、超過料金がかかります。図は本文を明確にするための最小限のものに制限されます。これまでに出版された図表は通常受け入れ不能となります。

8. 原稿送付票

平成23年7月より、原稿投稿時には原稿送付票に和文抄録の添付を200字程度で記述して頂くことになりました（フォーマットは日本生理人類学会HPよりダウンロード可能）。これは本誌編集委員会が、スムーズな査読者選定を行うために用いるもので、投稿原稿が最終的に受理された場合には、印刷対象とはなりませんのでご留意願います。また、どこに生理人類学的要素（研究視点や対象など）があるのか記述して下さい。

査読システムについて

新規投稿された原稿は編集委員会にて受け付け、その旨、電子メールでお知らせします。ただし、投稿規程に準じていない場合は受け付けられない場合があります。次に編集委員会において学会内外から2名以上の査読者を決定し、速やかに査読（最大3次）が行われます。査読結果は直ちに著者（連絡先）へ電子メールで送付され、補筆のうえ返送していただきます。2名の査読者より再査読なしの判定が得られ、所定の書式に従った掲載用版下原稿が編集委員会に受理された時点で原則的には掲載決定となりますが、最終的な判断は編集委員会が行います。また掲載順も編集委員会にて決定します。学会誌の発行は原則2, 5, 8, 11月の年4回で、掲載決定から可能な限り直近の学会誌に掲載されます。

投稿先

投稿は電子投稿とし、日本生理人類学会誌原稿送付票も含まれた原稿ファイルを電子メールに添付し、jjpa@jspa.netに送付してください。電子メールの件名は「新規（筆頭著者名）」としてください。投稿原稿はMS-Wordとpdfの両形式で作成されることとし、原稿送付票、表紙、

英文要旨、本文、謝辞、引用文献、表、図をひとつのファイルにまとめてください。ファイル名は「新規（筆頭著者氏名）」としてください。

投稿料および別刷代

原稿が採択された場合、編集局から印刷会社に原稿が送られ、テスト原稿（初稿）を作成します。初稿は責任著者の元へ送られ、修正箇所がないかどうか確認した後、印刷会社へ返送願います。この段階での修正は、例えば誤字脱字の修正等、査読内容に触れない程度のもに限定します。なお、著者校正は原則1回だけとします。

投稿料（PDFおよび別刷代を含む）は下表のとおりです。ただし、カラー印刷等による掲載は、著者の申し出により行うことができますが、これらに要する費用は著者の負担となります。なお、カラー印刷を希望される場合は、投稿時からカラー原稿を送付して下さい。別刷は50部単位とします。論文が採択された後、編集委員会が著者に希望部数を問い合わせます。

別刷部数	0	50	100
1 頁につき	6,000 円	7,500 円	8,000 円
別刷部数	150	200	300
1 頁につき	9,000 円	10,000 円	12,000 円

※別刷部数に関わらず、PDF が含まれます。

例) 最終原稿8頁・別刷100部の場合、
8,000円×8=64,000円

著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は日本生理人類学会に帰属します。